

柏市教育福祉会館の耐震改修後のあり方，活用について（骨子）

（２） 活用面

①福祉センターの相互利用

既存の福祉活動を尊重しつつ、年齢別や分野別の枠を超えた福祉センターの相互利用、多世代交流や高齢者の力を子育て支援等に活かす活用の検討を進めます。

- 福祉センター（教育福祉会館1・2階）で活動している高齢福祉・障害福祉・地域福祉それぞれの既存の活動を尊重しながら、年齢や分野を超えた相互交流，相互利用を検討します。
- 多世代交流を通して，様々な年齢層の市民が，自分たちの強みを活かせる社会参加や地域共生に繋がる活動を展開できるセンターを目指します。
- 福祉センターの相互利用を通し，子育てや障害者支援の仕事，ボランティアを体験できる場の創設を目指します。
- 高齢者が趣味・経験などを子どもたちに教えたり，子育て世代との交流を通じた孤立する子育ての心の支えとなる関係づくりの構築等，新たな活動・活用の支援を進めていきます。

②子ども，若者の居場所づくり

施設の利用が少ない子どもや若者の意見も取り入れ，活動できる場の機能構築や居場所づくりの活用の検討を進めます。

- 利用が少ない子どもや若者の意見を回覧板等で集めるなど検討し，子ども，若者の意見も積極的に取り入れた参加しやすい多世代交流の居場所づくり等を進めていきます。
- 子どもや若者が利用しやすい曜日や時間帯を工夫し，様々な世代の方たちが使用し，交流できる機会を創設していきます。
- 子ども，若者の居場所づくりの一つとして，オープンスペース等で，子ども，若者向けのイベントの実施の検討を進めていきます。

③生涯学習のハブ機能を有する拠点施設

地域活動に貢献できる人材の育成や地域が抱える課題解決のための学習の実施など，公民館での活動中心から地域へ発信するネットワークの拠点を目指します。

- 教育福祉会館として，生涯学習の場の提供だけにとどまらず，地域活動に貢献できる人材の育成を目指します。
- これまでの公民館を中心とした活動から，地域が抱える課題解決のための学習など，地域へ発信するネットワークの拠点（ハブ機能）としての活用，生涯学習の拠点となるよう検討を進めていきます。

官民協働検討委員会等意見及び市民の皆さまからの主な意見

<官民協働検討委員会等>

- 既存の活動を残しつつも，やり方を考えたもっと有意義な場への変更
- 今までどおり高齢者が囲碁・将棋・カラオケができる場を継続
- 障害者の活動や社会参加を促進する場の拡充
- 多世代が交流したり，仕事やボランティアを体験できる場の創設

<意見募集で出た主な意見>

- 福祉の機能充実，子育て支援の居場所，相談スペース
- 耐震改修工事後も週3時間程度，囲碁・将棋のできる部屋をぜひ認めてほしい
- 施設はより多くの人々に利用されてこそ存在価値がある
- 高齢者のための広場交流が出来るようにしてください。若者との交流が出来ればなお良い。

○子育て支援や若者が活動できる場の機能構築

- 子どもの意見を取り入れ，居場所づくりを推進
- 若者の意見を回覧板等で集めて，誰もが利用しやすい活用を検討
- 利用する曜日や時間帯を工夫し，様々な世代の方たちが使用し，交流できる機会を創設
- オープンスペース等で子ども向けのイベントを実施

<意見募集で出た主な意見>

- 子ども，若者の居場所づくりの考え方は，休日や夕方，夜間を想定しているのか。日中は学業があるので，空白が出ると思うので一考を要する。
- 囲碁や将棋ができるよう従来通り，一部の優先利用を認めてほしい。これまでとは違い，60歳以下の若者等，誰でも迎え入れることとしたい。
- 利用に年齢制限を加えないで老若男女交流の憩いの場としてほしい

<官民協働検討委員会等>

- 学んだ成果を社会，福祉分野の地域活動等に活かせる場として醸成
- 公民館活動，福祉活動を中央から地域へ発信する人材育成のハブ機能をもった施設となるよう考える
- 地域にある課題を中央に吸い上げ，それをまた還元する仕組み，活用を考える

<意見募集で出た主な意見>

- 生涯学習のハブ拠点の施設にする意図は何か。具体案を示してほしい
- 高齢者に限らない現役納税者に対して市民としての納得感を持たせられる，教育を期待する。土日，祭日の講座が必要
- 生涯学習の拠点としての機能